

「日本新聞協会選挙標準フォーマット（新聞協会フォーマット）」 第6版改訂版の概要

目的と概要

日本新聞協会は2020年3月、選挙標準フォーマットを14年ぶりに改訂し、「第6版改訂版」を策定しました。今回の改訂は、第25回参議院議員通常選挙（2019〈令和元〉年7月）から導入された比例代表「特定枠」制度に対応させるために行ったもので、票数データの扱いは、同選挙で暫定的に全国の選挙管理委員会に要請した運用方法と同じです。このほかの選挙種別に関しては、内容に変更はありません。

改訂内容

1. 特定枠候補者の票数データについて

特定枠名簿に記載された候補者（以下、特定枠候補者）への投票数の実数（公職選挙法第68条の3の規定により政党等の有効投票とみなされた投票数）を、同人の個人データ欄に記載していただきます。

この運用方法では、特定枠候補者への投票数が政党名得票数と候補者名得票数の両方に加算されることとなりますが、誤りではありません。投開票データの提供を受ける報道機関側で、票の二重計上を避けるための処理を行います。

また、投開票データに記載する候補者の並び順は、正式な配布資料に合わせてください。特定枠候補者を擁立した政党の比例名簿は、最初に特定枠候補者、次に特定枠以外の比例候補者の順になります。

詳細については、仕様書13～15ページに掲載の「4.4.1 非拘束名簿式比例代表制開票データ項目一覧」をご覧ください。

2. その他

フロッピーディスク（FD）でのデータ提供を前提としていた前版が策定されてから10年以上が経過し、FDの利用機会は激減したことから、現在のデータ提供形式の実情に即し、FDに関する記述を削除しました。

そのほか、「別紙B その2～4」（18～20ページ）は各選挙区の区割り変更に伴い、最新の情報に更新しています。

新聞協会フォーマット以外でのデータ提供について

総務省フォーマットや独自フォーマットなど、新聞協会フォーマット以外で開票データを提供する場合も、特定枠候補者への投票数を報道機関にご提供ください。

本件に関する問い合わせ先：

一般社団法人日本新聞協会 編集制作部技術・通信担当

電話：03-3591-6806 / FAX：03-3591-6149

Eメール：s_tech@pressnet.or.jp